



RAKUWA
lecture of health

第229回 らくわ健康教室

2015年2月28日



高齢者の防犯・ 交通安全対策

～最近の事件・事故情勢から～

うえ の よし お
洛和会本部総務室 室長 上野 善雄

高齢者の防犯・交通安全対策

～最近の事件・事故情勢から～

はじめに

本日は、高齢者が犯罪の被害者になったり、交通事故の加害者や被害者になることがないよう、最近の事例をもとにお話しします。



高齢者の防犯対策

2014(平成26)年中の犯罪情勢について

2014年の京都府内の刑法犯認知件数は、28,671件で、前年より3,273件減り、39年ぶりに3万件を下回りました。これで2005年以降、10年連続で減少し、戦後最悪だった2002年と比べると半数以下に減少しています。

特徴的傾向としては、窃盗犯(自動車盜や住居侵入、ひったくりなど)が大幅に減った半面、自転車盜が増加しました。また、特殊詐欺の被害額が過去最悪の11億円を超えるました。殺人(未遂も含む)も増加しています。

自転車盜は、全刑法犯の認知件数の約27.3%を占めています。被害状況をみると、全体の6割近くが無施錠でした。一方、4割余りは施錠していたものの盗難にあります。鍵を2カ所かける「ツーロック」がより安全です。



特殊詐欺について

特殊詐欺には、以下のようなものがあります。

特殊詐欺について(類型)

振り込め詐欺

- オレオレ詐欺
- 架空請求詐欺
- 融資保証金詐欺
- 還付金等詐欺

振り込め詐欺以外(代表的類型)

- 金融商品等取引名目の詐欺
- ギャンブル必勝情報提供名目の詐欺
- 異性との交際あっせん名目の詐欺
- その他

京都府内での2014年の発生状況は、認知されている被害数が158件で、被害金額が11億4,601万円でした。前年と比べ、件数では11件下回ったものの、被害金額では4億7,786万円も増加しました。1件あたりの被害額は725万円(330万円増)です。ちなみに全国では13,371件、約560億円の被害が発生しました。

京都府内の被害者158人中、73%にあたる116人が65歳以上の高齢者で、被害高齢者の84%が女性でした。

特殊詐欺の特徴的傾向

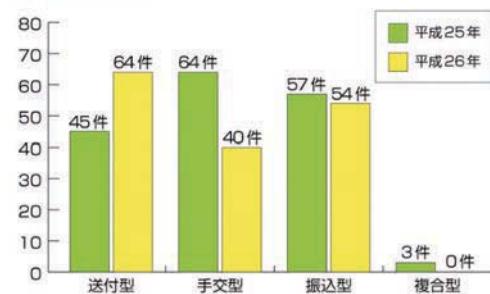
詐欺の手口や、犯人が名乗る人物、犯人がかかる口実などについて、以下の特徴があります。

特殊詐欺について(特徴的傾向①)

手口の特徴的傾向

- 送付型が急増(レターパック・ゆうパック)
- 振り込み型、手交型(手渡し)は減少

◆前年との比較



※親族などを装う電話で、地方の高齢者を東京に呼び寄せ、関係者に成りすまして現金を受け取る「上京型」が増加(2014年11月報道記事)



特殊詐欺について(特徴的傾向②)

犯人が名乗る人物



- 息子、孫、息子の知人などを名乗る
- 警察官、銀行員(銀行協会)、区役所職員、税務署職員、社会保険事務所職員、百貨店の従業員、資産運用会社の社員などを名乗る

などを名乗る

特殊詐欺について(特徴的傾向③)

犯人がかたる口実

- 株や債券等の取引・名義貸しからのトラブルをかたる
- 警察官や銀行員等と称して預金の保護をかたる
- メール等を使用して有料サイトの延滞料金未払いをかたる
- ロト6の当選番号やパチンコの必勝法の情報提供をかたる
- FAX等を利用して融資名目に保証金や手数料をかたる
- 女性の交際名目に紹介手数料をかたる
- 役所職員と称して年金や保険料の未払い金があるとかたる
- 息子や孫と称して借金返済等をかたる
- 葉書を使用して過去に購入した商品の未払い訴訟をかたる
- その他



被害額の多い類型としては、架空請求詐欺が増加しています。パンフレットなどの書面を示さず、電話口だけで架空の未公開株や社債の購入を持ちかける手口や、身に覚えのない業者からのメールやはがきでの請求でだましとする手口です。今年に入ってからは、キャッシュカードをだまし取られる新手の詐欺が増えています。「あなたのカード名義で高額のバッグが買われています。カードを無効にして作り変えます…」などとだまして、カードを預かり、暗証番号を聞き出す手口です。

特殊詐欺の防止対策

防止対策の主なものは以下のとおりです。

特殊詐欺防止対策について

防止対策①



- ⚠ 警察官等が現金やキャッシュカードを預かる事はない!!!
- ⚠ 「口座凍結」「名義貸し」=こんな言葉は詐欺です!!
- ⚠ 「必ず儲かる」という話は要注意!!

- 不審な電話はすぐに切る(できれば、在宅時も留守番電話を設定する。)
- 暗証番号、個人情報は他人に教えない
- キャッシュカードは他人に渡さない
- 不審者が自宅に来ても応対せず、110番通報

京都府警察本部は、本部長の緊急メッセージとして、

- 1 午前中のお金の用立て電話は「即警戒」
- 2 心当たりのない会社からの電話やパンフレットが来たら「即通報」
- 3 ゆうパックやレターパック、宅配便での送金依頼は「即110番」

を呼び掛けています。また、だまされたふり作戦への協力も呼び掛けられています。

このほか、日頃から身の周りの人たちと防犯について話し合っておくことや、広報での呼び掛け、ATMの前で気になる行動をしている高齢者がいたら声を掛ける…など行動の輪を広げることが、特殊詐欺の封じ込めに役立ちます。



高齢者の交通安全対策

2014年の交通事故発生状況(京都府内)

交通死亡事故は減少を続けており、2014年度は統計を開始した1948年以降で最少を記録しました。死者数はピーク時の19.2%の69人までに減少しました。ただ、高齢者に限ってみれば、事故発生件数は平均すれば横ばいで、2014年は前年と比べ8人増の38人が亡くなりました。

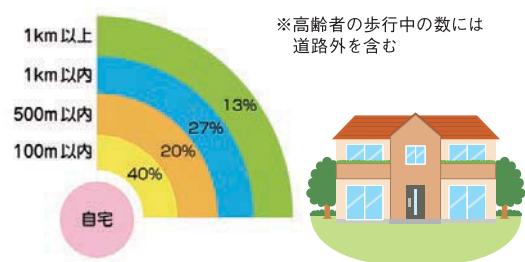
高齢者の交通事故発生状況

全般的特徴は、高齢者の場合、事故にあうと重傷化する傾向があります。高齢ドライバーによる事故の割合が年々増加しており、最近では高速道路の逆走や誤発進などが問題化しています。

歩行者死亡事故の特徴は、以下のとおりです。

- 横断中の事故が大半を占めている。
- 自宅近くでの事故が多い。
- 夜間の事故が多い。

歩行中の高齢者死亡事故の自宅からの距離



自動車運転中の死亡事故は、事故死が2.5倍に増えています。シートベルト非着用の事故死が約半数です。

高齢ドライバーの事故要因は以下のとおりです。

- 交差点の出合い頭の事故。
- 一時停止をしないで起こる事故。
- 信号や標識などの見落とし。
- 体力の衰えからくる判断や操作ミス。

交通事故防止対策

歩行者や高齢ドライバーの事故防止のポイントは以下のとおりです。

交通事故防止対策


歩行者の事故防止のポイント

安全な横断

- 安全施設を利用する。
・信号機・横断歩道・横断歩道橋・横断用地下道
- 交通ルールを守り、確実な安全確認をする。
左右の安全確認だけでなく、前後、特に後方から来る車に注意する。

夜間の交通安全

- 明るい道路を選ぶ。
- 明るい服装や目立つ工夫をする。
- 反射材を活用する。

高齢ドライバーの事故防止のポイント

▶ 基本の交通ルールを守る
～加害者にも被害者にもならない防衛運転～

- 車に乗るときは、全席で必ずシートベルトを着用する。
後部座席でも!!(平成20年より義務化)
- 信号のない交差点でも一時停止で安全確認。
- 信号や標識の見落としに注意。
- 夜間や体調の悪いときは運転を控える。
- 運転中に歩行者を見かけたら「速度を落とす」「先をゆづる」などの思いやり運転の励行
- 自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用

▶ 運転免許証の自主返納制度の活用

洛和会ヘルスケアシステムの防犯活動について

防犯や交通安全対策は、個人の問題にとどまらず、社会全体の課題でもあります。当会は、企業の社会貢献活動(CSR)としてこの課題に取り組んでいます。具体的には、

- ① 安心・安全サポート事業所制度への参加登録(当会の102事業所)
- ② 恒常的な広報啓発活動(ステッカーや看板掲示など)
- ③ 独自の施策(防犯施策や地域美化活動への参加など)
- ④ 警察・消防など関係機関との連携
- ⑤ 職員教育

に努めています。

防犯や交通安全の意識を高め、安心で安全な暮らしを広げましょう。